

各教科の単元とデジタルコンテンツの関連表 小学校第2学年

	4月	5月	6月	7月	
国語	すきな こと、なかに いくつ あつめられるかな 風の ゆうびんやさん/ここの ノートの つくりかた	たんぼほの ひみつを 見つけよう たんぼほ こんな ことを しているよ・丸(。), 点(。), かぎ(「」)	かんさつした ことを 書こう かたかなで 書く ことば	言いつたえられて いる お話を 知ろう 本は 友だち	
	としょかんへ 行こう	外国の 小学校に ついて 聞こう 声や うごきで あらわそう 名前を 見て ちょうだい	ことばで 絵を つたえよう 文しょうの ちがいを 考えよう サツマイモの そだて方	しを読もう いろんな おとの あめ 空に くうんと 手を のばせ ほんたいの いみの ことば	
	かん字の 書き方 (書)楽しく書こう 漢字SU①	(書)かたかなの書き方	(書)かたかなの書き方 他 漢字SU② 書くことSU①	(書)かん字の書き方 他	
	ココアはいくつ 1 表とグラフ 2 時ごとと時間 3 たし算	3 たし算 4 ひき算 何人いるかな 5 長さ	5 長さ さんずう式ワン 「ものさしつくれる?~長さの単位~」 https://www.nhk.or.jp/sansuu/wan/?das_id=D0005160054_00000	6 100より大きい数 たし算とひき算の図 7 たし算とひき算	
	ようこそ! ○○小 おいしい 野さいを そだてよう	おぼけの学校たんけんたん 「わくわく学校たんけん」 https://www.nhk.or.jp/seikatsu/obake/?das_id=D0005280011_00000 おぼけの学校たんけんたん 「大きくなってねわたしの野さい」 https://www.nhk.or.jp/seikatsu/obake/?das_id=D0005280013_00000	おいしい 野さいを そだてよう レッツゴー! 町たんけん I おぼけの学校たんけんたん 「大きい みんなの図書かん」 https://www.nhk.or.jp/seikatsu/obake/?das_id=D0005280017_00000	レッツゴー! 町たんけん I 生きものとなかよし	おぼけの学校たんけんたん 「おせわしてなかよくなりたいたい」 https://www.nhk.or.jp/seikatsu/obake/?das_id=D0005280015_00000
音楽	強さやはやさをかんじて 「山びこっこ」 https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/textbook/shou/ongaku/d	強さやはやさをかんじて リズムやドレミとなかよし 宇大附属小 どうぶつクラブであそぼう https://www.youtube.com/watch?v=SHevBA8K34g	リズムやドレミとなかよし リズムやドレミとなかよし 〈おと〉音の重なりやリズムをえらんで合わ	ドレミのトンネル https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/m-link/ongaku/2.html	〈おと〉音の重なりやリズムをえらんで合わ
	すきなことなかに くつつき マスコット えのぐじま	A土ってきもちが… Bにじいろ… つつきえとんとん ギュッとしたいわたしの「お友だち」	ギュッとしたいわたしの「お友だち」 どうぶつさんといっしょに	ひみつのグアナコ コロコロ大きくせん	
体育	固定施設 体ほぐしの運動 鉄棒遊び 表現遊び/リズム遊び	表現遊び/リズム遊び 走の運動遊び 跳の運動遊び はりきり体育ノ介 「走るに挑戦だ!」 http://www.nhk.or.jp/taiiku/harikiri/?das_id=D0005220018_00000	跳の運動遊び 体のバランスをとる運動遊び 体を移動する運動遊び 水遊び	水遊び	
	1 じぶんでオッケー(A(3)節度、節制)	4 大きなフルーツポンチ(C(11)公正、公平、社会正義)	7 わずれられないえがお(A(1)善悪の判断、自律、自由と責任)	11 たんじょう日(D(17)生命の尊さ)	
	2 くまくんのたからもの(B(6)親切、思いやり)	5 いそいでいても(B(8)礼儀)	8 げんきにそだて、ミニトマト(D(18)自然愛護)	12 さかあがりできたよ(A(5)強い気持ちでしっかりと)	
3 ひかり小学校のじまんはね(C(14)よりよい学校生活、集団生活の充実)	6 ありがとう、りょうたさん(A(4)個性の伸長)	9 ひろいせかいのたくさんの人たちと(C(16)国際理解、国際親善)			
道徳科			10 ともだちやもんな、ぼくら(B(9)友情、信頼)		

※【道徳科】NHK for School「銀河銭湯パンタくん」より、主な内容項目が共通している動画を挙げています。活用の際は、児童の状況や心情等に配慮し、家庭での視聴に適するか、動画の内容を確認する必要があります。